



第四回市はしけん大会が一月二十一日、市民体育館で開かれました。これは、市観光協会（沢村武一会長）の主催で四十八年の序舎落成を記念して始まったもので、今年は団体三十八チーム、個人百八人が参加し、腕を競った。大会は、前団体優勝の長原林材、福留明夫さんの三本ばしによる選手宣誓で始まりまし。

第四回はしけん大会

六士儀での熱戦では、はちまき姿の男性と女性けん士の決戦も見られるなど、延々四時間の力のこもった勝負となりました。団体・①藤原寿チーム②伊達野三組③浜改田C④料敵組合三組、敢闘賞・浜野一、浜改田B、個人・横綱大谷連喜（南連合組）

市内で二人目の百歳のおばあさんが「誕生」するにあつて、明るい話題を心待ちにしていたやきき、二月二日このおばあさんが亡くなりました。このおばあさんは、久礼田の山中春さんで、二月四日の誕生日で満百歳になるところでした。

百歳を前に逝く

小笠原市長ら関係者は、春さんの長寿を祝うために、記念品を買って訪問しようとしていただけに悲報を知らされたショック。一時は訪問を取りやめることになりましたが、遺族からの希望で、春さんの写真の前で、「ちよっと違つたお祝い」を行いました。春さんが、このお祝いを楽しみにしていたことから、思い切つてこのお祝いをしたところなく、元気でしたが、寒さがこたえたのでしよう。お酒も適量、酢ものが好きでした。」と、故人をしのんでいました。

南国おどりと披露今年も物産展

物産展のふるさとのお味まつり」のテーマでおなじみとなった、第三回香南市町村の観光と物産展が、一月二十六日から三十一日まで高知大丸で開かれました。これは小笠原市長が会長をしている香



△県観光連盟会長賞・前田昌男（檀川）

連絡協議会の主催で行われたもので、南国市からはへんろ石炭漬や芋けんぴ、ちりめんじやなどが出品されました。また、二十九日には三和青年団による「南国おどり」などが披露され、訪れた人々の目を楽しませていました。なお、カマ、オノ、ナタ、包丁などを審査する第三回土佐打ち刃物コンクール（展示六十四点、表彰二十三点）の作品も展示されており、南国市では次の方々が受賞しました。

物品競争見積 参加は 3月10日まで

松本宏彰君ら四人に 非行防止作文入選作決る

昭和五十二年の「少年非行防止」作文入選十編が、このほど決まりました。これは数年前増加とともに、質的にも集団化、悪質化の傾向にある少年非行の実態をふまえ、一人でも多くの非行少年をなくしていくという願いをこめて、県防犯協会が募集していたもので、五百八十六名の応募がありました。どの作品も、少年の立場から、何を考え、何を悩み、何を問題視しているか、素朴ながらも真剣な訴えが述べられています。



入選・香長中学三年松本 宏彰 三年藤岡 ゆか 三年溝淵頼之恵 二年富山 恵美

さて、非行の中には、いろいろな種類がある。そして、それはどこかでつながっているのである。非行がだんだん興じてくる。最後には、とりかえしのつかない状態になってくる。こうまでなつては手の打ちようがない。だから、こうなる前に防がなければならない。それでは、どうすれば防げるか、考えてみよう。

水道工事は必ず 指定工事店で